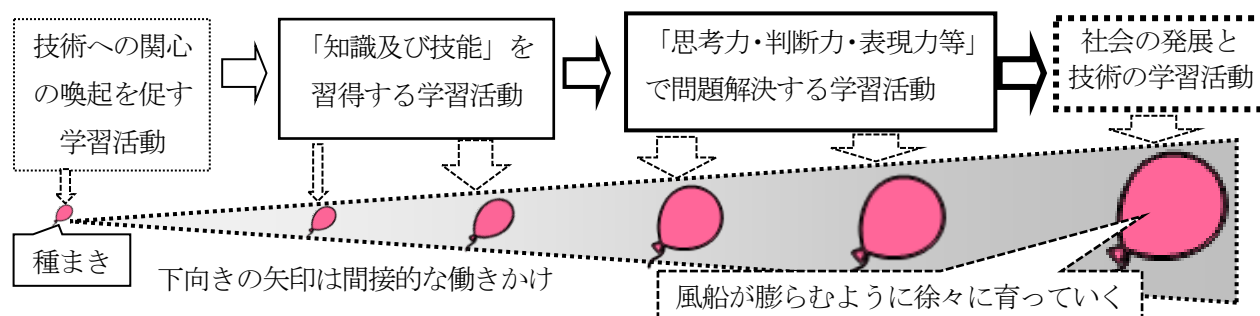


<208>「技術を工夫し創造する実践的な態度」の学習指導のコツとは？

技術分野の目標(3)に当たる学習内容は、下の図に示すように、技術への関心の喚起→「知識及び技能」の習得→「思考力・判断力・表現力等」の問題解決→「社会の発展と技術」の一連の学習活動の間接的影響を受け、風船が少しずつ膨んでいくように生徒の内面で徐々に育っていきます。観点「主体的に学習に取り組む態度」は、そうした態度に育つように学習指導するのがポイントです。従って、教科目標(3)に相当する内容は、参考資料に示すように学習指導要領に示されていません。



下の資料に、各学習活動の場面で間接的な働きかけの例を示してみました。

資料：間接的な働きかけの例

「知識及び技能」の場で	その技術はどこで使われているのかな！
「思考力・判断力・表現力等」の場で	それって、どんな問題解決をしているのかな！
「実践的な態度」の場で	どんなことに役だっているのかな！

参考資料：学習指導要領の技術分野の目標(3)の内容や観点別評価など

技術分野の目標	技術分野の内容	観点別評価
(3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。	内容に示されていない	観点「主体的に学習に取り組む態度」
(1) 生活や社会で利用されている材料，加工，生物育成，エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付け，技術と生活や社会，環境との関わりについて理解を深める。	内容(1)のAとイに示されている	観点「知識・技能」
(2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，製作図等に表現し，試作等を通じて具体化し，実践を評価・改善するなど，課題を解決する力を養う。	内容(2)のAとイに示されている Dは、(3)も	観点「思考・判断・表現」